

平成29年度 彦根市子どもの貧困対策計画施策 新規・拡充事業概要 (平成30年1月1日現在)  
 ※【子若プ】は「彦根市子ども・若者プラン」分

基本視点	1 子どもたちの学びを応援
施策	<p>【1】家庭・地域での子育て支援の充実          【2】就学前保育・教育の充実          【3】学校教育の充実          【4】食育の推進          【5】多文化共生社会などへの対応          【6】学校を窓口とした福祉関連機関などとの連携          【7】地域での学習支援          【8】高校生・大学生を対象とした就学の支援</p>
<p>○地域における子育て支援の充実を図るため、平成29年4月に東山児童館において地域子育て支援センターを開設し、トイレや授乳室などの改修を行った。(東山児童館運営事業) 貧対:【1】①、子若プ:2(1) 東山児童館</p> <p>○民間保育所の臨時職員を対象に、処遇改善のための人件費補助を行った。(保育所職員人材確保事業) 貧対:【2】⑤、子若プ:2(2) 幼児課</p> <p>○待機児童の解消を図るため、民間事業者による利用定員90名の保育所1園の新設に対する補助を行った。(民間保育所施設整備事業) 貧対:【2】⑤、子若プ:2(2) 幼児課</p> <p>○学力学習状況調査の結果分析において、特に課題の見られた中学校国語科において、教員の指導力向上を図るため、新たに教員への支援員を配置した。(学力向上推進事業) 貧対:【3】①、子若プ:2(2) 学校教育課</p> <p>○小学1年生の多人数学級において、学校生活にスムーズになじめるよう、きめ細やかな指導を行うための支援員を2学期終了まで配置した。(小一すこやか支援事業) 貧対:【3】①、子若プ:2(2) 学校教育課</p> <p>○発達障害を含む障害のある児童生徒に対して、児童生徒の安全確保と学習、学校行事等への支援を行う特別支援教育支援員を増員するとともに、新たに医療的ケア支援員を配置した。(特別支援教育支援員配置事業) 貧対:【3】⑦、子若プ:3(4) 学校教育課</p> <p>○小中学校に、子どもを取り巻く環境の調整・改善を図り、学校の生徒指導に福祉的な視点を取り入れるべく、スクールソーシャルワーカーを配置・派遣した。また、ケース会議での指導助言、教員の資質向上のための研修を実施した。(スクールソーシャルワーカー活用事業) 貧対:【6】①、子若プ:3(5) 学校教育課</p> <p>○地域住民や大学生等の協力のもと市内全中学校において地域未来塾事業を実施し、学習習得と心の居場所づくりにつながることができた。(地域学校協働本部事業) 貧対:【7】①、子若プ:2(2) 生涯学習課</p>	
基本視点	2 子どもたちの育ちを応援
施策	<p>【9】 スポーツ・芸術など体験の機会の提供          【10】 放課後児童クラブの内容充実          【11】 子どもたちの居場所づくり          【12】 ショートステイトワイライトの充実          【13】 子ども・若者への就労支援          【14】 保護者の就労支援          【15】 経済的な支援          【16】 保護者の健康確保          【17】 暮らしへの支援</p>
<p>○佐和山小学校の児童増加にともない現在クラブ室として利用している学校施設(教室)の利用が難しくなるため、新たなクラブ専用棟の設計委託を実施した。(放課後児童クラブ整備事業) 貧対:【10】① 子若プ:2(2) 生涯学習課</p> <p>○人権・福祉交流会館において、夏季休業中の学童保育の期間中、養護教諭を常駐させ、子どもたちが安心して参加できる環境を整備した。(学童保育事業) 貧対:【11】①、子若プ:1(2) 人権福祉交流会館</p> <p>○ニートやひきこもり等社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を支援するため、北部エリアに若者が一歩を踏み出す場所となる居場所(通信サロン)を平成29年4月に開設した。(子ども・若者支援事業) 貧対:【11】④、子若プ:3(3) 子ども・若者課</p> <p>○ひとり親家庭の子どもを対象に、学習支援や食事の提供、地域の大人と触れ合う機会をつくる。子ども自身の「生きる力」に働きかけひとり親家庭の子どもの生活向上を図ることを目的に「ひとり親家庭子どもの居場所づくり事業」を実施した。(ひとり親家庭等生活向上事業) 貧対:【11】⑤、子若プ:3(5) 子育て支援課</p>	

○市内の介護施設等で活躍する介護サービス従事者の確保・定着および資質の向上を図るため、国家資格である「介護福祉士」の資格取得に向けた介護福祉士実務者研修受講料の一部を補助する、「彦根市介護福祉士育成応援補助金」を実施した。(地域福祉人材確保・育成事業) 貧対:【14】③、子若プ:3(5) **介護福祉課**

○医療費の負担軽減を図るため、ひとり親家庭、重度心身障害者のうち 18 歳未満の者の自己負担金を撤廃した。(福祉医療費助成事業) 貧対:【17】①、子若プ:4(1) **保険年金課**

基本視点	3 みんなで応援
------	----------

施策	<p>【18】 相談体制の整備・充実</p> <p>【19】 関係機関による連携強化・ネットワークの整備</p> <p>【20】 早期発見と必要な支援へのつなぎ</p> <p>【21】 子どもたちを応援する地域づくり</p> <p>【22】 市民への啓発</p> <p>【23】 ふるさと納税制度などの周知・啓発</p>
----	--

○ニートやひきこもり等社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を総合的にサポートあるいは支援をコーディネートしていくことを目的に開設した「彦根市子ども・若者総合相談センター」に、平成 29 年 6 月から「子どもの貧困対策」に関わるコーディネーター(子ども応援コーディネーター)を配置し、その機能を追加しました(「子どもの応援相談窓口」)(子ども・若者支援事業) 貧対:【18】①、子若プ:1(1) 2(3) 3(5) **子ども・若者課**

○周産期の相談支援体制の整備充実を図るため、周産期調整会議のメンバーに子育て支援に関する関係機関を入れ、切れ目のない支援体制構築のため情報共有を行った。(まち・ひと・しごと妊娠出産包括支援事業) 貧対:【18】②、子若プ:1(1) **健康推進課**

○特に不安が高い人の多い産後2~3か月のお母さんが気軽に集まり、一緒に話をしたり、助産師、保健師による相談を受けることができる場を、月1回開催している。(まち・ひと・しごと妊娠出産包括支援事業) 貧対:【18】②、子若プ:4(1) **健康推進課**

○相談件数の増加や相談内容の複雑・専門化に対応するため、相談支援員の増員を図り、1 名増員した。(相談支援事業) 貧対:【18】⑤、子若プ:2(3) 3(3)(4) **障害福祉課**

○子どもたちを応援する地域支援者の人材育成から活動の運営までをトータル的にサポートする体制の整備と、フードバンクや制服等のリユースの仕組み・体制づくりを検討する業務(子ども・若者を応援するひとづくり・地域づくり事業)を、平成 29 年 6 月から社会福祉協議会へ委託した。(子ども・若者支援事業) 貧対:【21】①③④、子若プ:1(1) 2(3) 3(5) **子ども・若者課**

○多様な媒体でPRを行うことで、平成28年度寄附金額(大口寄附を除く。)に対して平成29年度寄附金額は大幅に増加している。(ふるさと彦根応援寄附事業) 貧対:【23】、子若プ:3(5) **まちづくり推進室**